

# 事務局ニュース

《事務局業務日・時間》月曜日～金曜日(土日・祭日休業)  
午前 9:30～午後 3:30

No.302 2023年1月1日  
NPO 法人富山県腎友会事務局  
〒931-8443 富山市下飯野 70-4  
TEL:076-407-5085  
FAX:076-407-5086  
発行責任者 池田 充  
編 集 坂田 祐美  
定価 50 円(会費に含む)

## 新年のごあいさつ

NPO 法人富山県腎友会  
会長 池田 充

新年あけましておめでとうございます。

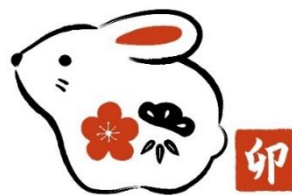
新型コロナウイルス感染拡大が始まってはや3年が過ぎ、4年目を迎えました。この間、従来の活動が思うようにできず、もやもやした思いを抱えていた方も少なくなかったのではないのでしょうか。これまで当たり前だと思っていたことが当たり前ではないことを教えられたような気がします。

今年は「ウイズコロナ」、感染対策をしながらこれまでの事業の推進に加えて、新たなる試みも加えた活動を行っていきます。

皆さんも新聞等でご存じかと思いますが、国の保障制度改革が進められています。高齢者医療の2割負担や介護保険の2割負担の拡大など、自己負担を求められることが増えてまいります。また、自治体毎の「障害者等医療費助成制度」については、既に全国の半数の都道府県で自己負担を課せられている状況です。私たち富山県では、腎友会が毎年県に要望していることで自己負担のない状態を維持していますが、決して他人事ではありません。会員数が減少していけば、わたしたちの声が届きにくくなり、いずれ負担が出るのは火を見るより明らかです。高齢になったから脱会するのではなく、高齢者だからこそ会員として名を残すことが重要なのです。また、家族の方にとっても経済的負担が増えずに済むこととなります。

経済的な負担だけではありません。全国的に地震、集中豪雨、雪害等いっどこで災害が起きても不思議ではありません。災害が起きれば、ライフラインである電気、ガス、水道が遮断され、透析治療そのものが危機的状況となります。また、道路が寸断されれば、通院もままならない状況となります。これらの問題を解決するには、医療機関や行政だけでなく、患者や家族の積極的な参加が必要です。「命と生活を守る」活動に一人でも多くの患者やその家族の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

最後に今年が皆さんにとって良い年となりますことを祈念し、私の挨拶とさせていただきます。



### 【お願い】新型コロナウイルス感染対策

全国的に新型コロナウイルスによる感染者が増えています。

ご存じのように、透析治療はワンフロアで行いますので、患者さん一人が感染すると、その場にいる他の患者さんも濃厚接触者になる可能性があります。

透析施設のクラスターを避け、皆が安心して治療を受けるために、一人一人が感染対策を心がけ、少しでも体調に異変があれば、必ず来院前に透析施設へ電話連絡し、透析スタッフの指示に従ってくださいようお願いいたします。



### 国会請願署名・募金

会員の皆様には毎年ご協力いただいている署名ならびに募金は、腎臓病患者の医療と生活を守るためにとっても大切な活動です。署名用紙をまだ提出されていない方は、1月中でも間に合いますのでよろしくお願いいたします。



## 臓器移植に関心を抱いた理由は保険証等の意思表示欄

内閣府が2021年に実施した「移植医療に関する世論調査」によると、臓器移植に関心があると回答した人の割合は65.5%であり、2017年の前回調査(56.6%)より増加していることが分かりました。その理由として「保険証や運転免許証の裏などに意思表示欄があったから」が67.2%と最も多かったことから、保険証等の意思表示欄の掲載が、移植啓発に大きな役割を果たしていることがうかがえます。

### 臓器提供に関心を持った主な理由(複数回答可)

| 理由                      | 回答率(%) |
|-------------------------|--------|
| 保険証や免許証の裏などに意思表示欄があったから | 67.2   |
| テレビ・ラジオで話題になっているから      | 48.9   |
| 新聞・雑誌で話題になっているから        | 24.4   |
| 家庭内での会話で話題になったから        | 13.1   |
| インターネットで話題になっているから      | 8.2    |
| ポスターやチラシを見たから           | 6.1    |

その一方で、「臓器提供に関心はあるが、臓器を提供する・しないは考えていない」と回答した人は4割を超えています(42.9%)。その理由に「臓器提供に不安感がある(34.3%)」「臓器提供に抵抗感がある(27.1%)」などがあり、移植医療に対する不安・不信を抱いている実態も浮き彫りになりました。

その他に、家族などと臓器提供について話をしたことがある割合は4割を超え(43.2%)、前回調査(35.4%)より増加しました。また、臓器提供の意思表示をしていた家族が脳死判定、もしくは心停止により死亡が確認された場合、回答者の90.9%がその意思を「尊重する」と回答した一方で、85.6%が本人の意思表示がない場合の臓器提供の決断には「負担感を感じる」と回答しており、あらためて生前に本人の臓器提供に対する考えを家族で話し合うことの重要性が示される結果となりました。

出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000869666.pdf>

### 透析患者のための勉強会

12月4日(日)サンシップとやまにおいて、会場受講とWEB受講を同時に行うハイブリッド形式で開催しました(会場受講55人、WEB受講27人)

勉強会では、県透析医会長 石田陽一先生の挨拶の後、「透析医療・看護のこれまでとこれから」をテーマに、富山県立中央病院腎臓・高血圧科医長の

篠崎康之先生と同院看護部の斎藤萌先生にご講演いただきました。



### 訃報

本会副会長で砺波地区腎友会会長の中藪和行さんが12月9日にご逝去されました。

中藪さんは平成8年から27年に亘り本会役員を務められ、会の運営にご尽力いただきました。

中藪さんのこれまでの功労に感謝するとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。



### おくやみ

- 表寺 保一 殿 かみいち総合病院 享年82歳
- 増山 京子 殿 厚生連高岡病院 享年88歳
- 北島 美智子 殿 個人会員 享年65歳
- 筒口 千鳥 殿 あさなぎ病院 享年66歳
- 伊藤 法子 殿 市立砺波総合病院 享年81歳
- 中藪 和行 殿 市立砺波総合病院 享年72歳
- 野本 直文 殿 坂東病院 享年74歳
- 大久保 栄 殿 富山城南温泉第二病院 享年74歳
- 藤井 賢輔 殿 長谷川病院 享年82歳
- 北川 隆男 殿 南砺市民病院 享年76歳
- 佐野 敏明 殿 かみいち総合病院 享年82歳
- 越後 としえ 殿 厚生連高岡病院 享年83歳

謹んでご冥福をお祈り致します

### 今後の予定

- 第54回理事会 2/12 サンシップ
- ※今後の状況により開催方法を変更する場合があります

